

教区通信

ふくおか

2026(令和8)年3月1日発行

Vol.148

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

—From tying bonds to great encounters—



▲ 北九州ブロック講社研修会

P2 就任挨拶

P2 門徒代表者協議会 実践運動研修会

P3 北九州ブロック講社研修会に参加して

P4 時局問題対策協議会 公開講座

P5 法話「教育では間に合わない命」

P6 在家免物冥加金改定について・免物とは

P7 免物冥加金改定一覧表

P8 2026(令和8)年度 鑽仰講座案内

就任挨拶

福岡教区教務所長・本願寺福岡教堂主管 阿武 正法 あんの まさのり

昨年十二月一日付をもつて、本願寺福岡教堂主管、福岡教区教務所長、ならびに本願寺大牟田別院輪番を拝命いたしました。

昨今の社会は、自然災害や武力衝突の頻発、人口減少や過疎・過密化など、生活に直結するさまざまな課題に直面しています。その影響はお寺を取り巻く環境にも及び、新型コロナウイルス感染症の影響も甚大でした。

また、価値観の多様化や地域社会の希薄化により、かつて家庭や地域で自然に伝わっていた法義も伝わりにくくなり、宗教離れも顕著です。「お念仏の声が聞こえなくなった」と言われる中、宗門として果たすべき役割はますます重要です。

教区で取り組んでおります「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)は、阿弥陀仏の願いにであり、支えとしながら社会の中の苦悩を他人事とせず生き抜くことをめざすものです。課題は多岐にわたり、間近の事象だけに注力すると、誰かの悲しみを押し込めてしまうことにもなりかねません。そのため、同朋運動や門信徒会運動、基幹運動から続く取り組みを点検し、しっかりと継承していくことが重要です。

また、差別や非戦平和、災害支援、自死、貧困など社会の課題に取り組むと同時に、宗派として抱える諸課題にも真摯に向き合い、教義に基づき正しい教えをひろめる責任を果たしてまいります。

さらに当教区では、子どもや若者への伝道・教化や学びの場づくりを通じ、互いに支え合う心豊かな社会づくりをめざしています。私自身も実際に現場で皆さまとともにお念仏を申しながら、現場を大切にする姿勢を貫き、一人でも多くの方が親鸞聖人のみ教えに親しみ、お聴聞する人となるよう努めてまいります。

今後とも福岡教区の皆さまとともに歩み、お念仏の声が聞こえる社会づくりに尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

門徒代表者協議会 実践運動研修会

門徒代表者協議会 会長 藤松 章二(早良組 浄覚寺)

十一月二十六日、福岡教堂に於いて福岡教区門徒代表者協議会実践運動研修会が開催されました。昨年は戦後八十年の節目に当たりました。わが国では先の戦争の体験者が少なくなっていると共に人々からも戦争の記憶が薄れてきています。世界に目を向けるとロシアによるウクライナ侵攻をはじめいろいろなところで紛争が起きています。

この度は、「語り部」として活動されておられますお二方をお招きし、吉丸泰生さんには「雷山空襲について」森部聰子さんには「福岡空襲について」お話しいただきました。

「雷山空襲」では、一九四五(昭和二〇)年六月十九日午後十一時三十分頃、自然豊かな雷山地区の二つの集落が空襲を受け、九名が死亡うち七名が即死されました。吉丸さんは「雷山空襲を語り継ぐ会」会長として地元の小学校や公民館で講演活動をされておられます。

森部聰子さんは「福岡空襲」の時の体験を語ってくださいました。「福岡空襲」は「雷山空襲」と同じ日、同じ時間帯に起き二千人以上が死傷し、福岡の街が焼け野原になった空襲です。森部さんは当時奈良屋小学校二年生、親兄弟と防空壕に入らず火の海の中を箱崎方面に走って逃げた恐怖を語っていただきました。お二人とも「語り部」として各地で戦争の悲惨さや平和の尊さを訴え続けておられます。

戦争にルールはありません。無差別な殺戮が繰り返されます。戦争体験者が高齢化で激減する中、戦後生まれの我々は悲惨な戦争を繰り返さないためにも戦争の悲惨さ・平和の尊さを後世に伝える義務があります。

親鸞聖人は教行信証の最後に述べられています。七高僧のひとり道綽禅師の言葉を借りて「前に生まれんものは後を導き、後に生まれんひとは前を訪へ、連続無窮にして、願はくは休止せざらしめんと欲す」と。

北九州ブロック講社研修会に参加して

岩男 邦広(宗像組 宗念寺)

十一月十二日・十三日、一泊二日の日程で二日市温泉大観荘にて「北九州ブロック講社研修会」が行われ、佛恩講、淳信講、元中通組蠟燭講、楠西廿八寄講、宗像ろうそく講の五講社二十五名の講員が参加しました。

大分教区大海組長光寺住職の大在紀さんによるご法話では、「聞」についてと「阿弥陀」のお名前のいわれについてわかり易くお話しくださり、有難くお聴聞させていただきました。

初日の夕食懇親会では今回参加の各講社紹介も行われ、長い歴史の中で様々な活動をされている様子や、一度途切れたものの再興された講社のことなど興味深く知ることができました。また会場で紹介され知り合ったご縁を切っ掛けに有益な情報を知ることとできるなど、とても有意義な懇親会となりました。

二日目の研修では、鷲山参拝教化部長よりご提起いただいた「お念仏をよろこびひろめ伝える講社活動」のテーマについて、

- ① あなたの所属する講社の歴史と主な活動
 - ② あなたの所属する講社の素晴らしさと感じること
 - ③ あなたの所属する講社で今後取り組みたい活動
- について講社ごとに分かれて議論を行った後、各講

社代表者より、活動の現状や課題についての発表がありました。

講社は本願寺と直結した組織であり、本願寺行事(龍谷会での庭儀など)にも講員が参加し活動できるという喜びと誇りがある一方、地域に根差した活動が故の課題も抱えています。この発表では、「相続と復興」のスローガンのもと活動されている各講社講員の皆さんのご努力の様子を知ることができました。

私が所属する宗像ろうそく講は、嘉永年間に始まり約百七十余年の連綿と続く歴史がありますが、現在その活動の特徴として、講社の継続発展を図るために、宗像組で活発に活動している門徒推進員協議会が中心となっていることが挙げられます。

長い歴史と重要なお役目を担っている講社に身を置き、講員の皆さんと護持発展に貢献させていただくことのできる有難いご縁をよろこび、お念仏とともに浄土真宗の救いのよろこびを広めます。

この研修会を通して、仏法護持、愛山護法精神を相続していくために講社活動を続け深め広めていく覚悟と、新しい視点を得て今後の活動のステップとすることができました。ありがとうございました。

おすすめの書籍のご紹介

末本弘然「新・仏事のイロハ」(本願寺出版社)税込660円

いざ、仏さまをご自宅にお迎えしたけれど、どうしたらいいかわからないという方も少なくないと思われます。

こちらの書籍は毎日のお仏壇のお給仕からご法事にあたっても大変参考になります。福岡教堂でもお取扱いしています。

※福岡教堂では他にも日々の勤行用聖典(おつとめのお経本)やCD等、本願寺出版社の商品がごございます。

※福岡教堂でのお求め・お問い合わせは福岡教堂2階事務所まで。(取り置きのない場合もあります)



時局問題対策協議会 公開講座

原田 円城(怡土組 正善寺)

十二月十九日、長年にわたって存廃論議の続く死刑制度をテーマに、公開講座が開催された。人の命を奪う究極の刑罰である死刑制度を持つ、日本の現状と課題を学ぶ貴重な機会となった。

死刑制度を問う時に、死刑存置を主張する根拠として、内閣府のおこなう世論調査結果があり、それによると「死刑もやむを得ない」という意見に賛成する割合が八〇%を超えている。その理由としては

「凶悪な犯罪は命をもって償うべき」「死刑を廃止すれば、被害を受けた人やその家族の気持ちがおさまらない」との回答を選択している。被害者遺族の抱く厳罰感情と、それへの共感であるうが、これらをゆらぐことのない「民意」とみることに、幾ばくかの躊躇を覚える。

被害者の救済とは、果たして死刑をもってしか完結しないのであろうか。

死刑撤廃を主張する意見にも、多く注目しなければならない。死刑の廃止や停止が国際的な潮流であることや、死刑が犯罪抑止に効果があるとの証明はできていないこと、生命の尊厳をめぐる論点などがある。先の世論調査においても、「死刑もやむを得ない」と答えた人の三分の一を超える人が、「状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよい」と答えている。「状況が変われば」という設問が抽象的であるが、その点は同世論調査の他の設問項目にて補完されていると読み取るしかないと思われるので、参照されたい。(内閣府／基本的法制度に関する世論調査／令和六年十月調査)

また、決して見落としてはならないこととして、近年も実例が続い

た冤罪事件がある。誤判によって罪のない者の命を奪えば、取り返しのつかないことになる、という指摘はあまりに重い。

公開講座講師の李博盛(リパクソン)弁護士は「死刑制度の廃止を求める決議」を推進する立場から、「二〇二六年は飯塚事件、菊池事件※(注)と、再審を認めるかどうかの決定が続けて出る。これにはぜひ関心をもって注目してほしい。」とコメントされた。この両事件はすでに、いずれの被告人にも死刑が執行されているが、再審請求がなされており、裁判所によってその判断がくだされる。

二〇二四年、大谷光真前門主の著書『死刑制度を問う』が刊行されたことが、今回の公開講座のテーマ設定につながった。同著書の副題に「仏教・浄土真宗の視点から」とあることが、著述の立場を明らかにしている。私はこれまで、真宗念仏者の自覚をもって死刑制度に対して向き合ってきただろうか。死刑制度は私たちを問い続ける。

※(注)

飯塚事件：一九九二年、飯塚市で小学校一年生の女兒二名が登校途中に失踪し、隣接する甘木市でいずれも遺体となって発見されるという幼児誘拐殺人事件。被告人は一貫して無罪を主張した。

菊池事件：一九五一年、熊本県菊池郡で発生したダイナマイト爆破事件および殺人事件。被告人はハンセン病患者とされ、差別・偏見が司法に重大な影響を与えた冤罪であったとの指摘がある。

一言一法話

「教育では間に合わない命」

宗 秀融（早良組 真正寺）

阿弥陀様は立派な人間になれば救うという仏様ではありません。

阿弥陀様はこの私の命をご覧くださり、この命に立ち向かわれました。お慈悲の眼差しの中で、この命を捨てておけるかと、氣遣われ、いとおしまれているのです。そしてすでに用意周到なお慈悲が完成されています。我々は阿弥陀様のお助けの鮮やかさ、お救いの手際の良さを聞かせてもらおうのです。

もし阿弥陀様が私を教育してお救いなさるなら大変です。このあたりのことを阿弥陀様はどうご覧になっているのでしょうか。

中国の曇鸞大師はお書物の中で「性とは不改の義なり」とおっしゃいました。性とは本性・本質です。お浄土の清浄真実なる本質・極楽浄土の質は、煩惱だらけの私が往っても何一つ変わりません。私が往くからと言ってお浄土の味が薄くなったり変質したりするようだったら清浄真実の世界とは言えません。お浄土の真実性は変わらないということです。

そしてこの煩惱を抱えた私の本質も変わらないのです。今までたくさんさんの教育を受けてきたはずですが、知識・教養・分別を持ち立派になったはずですが、なにに煩惱を抱えた私の本質は変わらないのです。

私のところは今でも年末になると親戚一同集まって餅つきをします。私が子どもの頃は火鉢があり、つきたてのお餅を火鉢で焼いて食べていました。しかし子

どものすることですから、焼いてる最中に火鉢の中にお餅を落とすのです。落ちたお餅は灰だらけ。それでも灰を払って食べてました。あの味は今でも忘れません。

今、何の話をしてるかというと煩惱を抱えた私の話です。はたけば落ちるというものは後からくつついたものだからです。だからはたけば落ちる。灰というものは後から外側についたからはらうのです。「おほらい」とは穢れとか障りが後からついたものだからそれをはらって磨いていけば、中に誠なるものがあると考えました。それが日本の古くからの思想です。

ところが阿弥陀様のおみのりを伺ってみると、人間というものは、全て芯から根っこから煩惱で仕上がりつついてるのです。それは後からくつついたものではなく、この命を構造的に作っている煩惱です。あとから外側にくつついたような代物ではないのです。それを「煩惱成就」や「煩惱具足」というのです。

我々は命終わる瞬間まで煩惱成就の命で変わることはありません。その人生・その命を丸ごと阿弥陀様がお慈悲の対応をしてくださいます。

どのような身の上、境遇の人であろうとも、立場事情がどれほど違っていても、阿弥陀様のお慈悲は平等に届きます。阿弥陀様が立ち上がられたのは、阿弥陀様のお慈悲をゆり動かす事態があったのです。教育しても間に合わない命がここにありました。

ホームページ・SNSもどうぞご覧ください

ホーム
ページ→



You
Tube→



LINE→
(ID:100xlzmt)



インス
タグラム→



1. 在家免物冥加金改定について

2026(令和8)年4月1日より本願寺では在家免物冥加金を改定させていただきました。

在家免物冥加金は20年間、据え置きとなっておりましたが、その間に消費税の増税や免物調製業者の人件費、材料費、流通費の高騰がありました。

このため、参拝教化部より在家免物交付の事務委託を受けております本願寺福岡教堂では在家免物冥加金の改定をいたします。関係者の皆さまにおかれましてはご理解のほどよろしくお願いいたします。

改定後の冥加金につきましては7ページに記載いたしますのでご確認ください。

2. そもそも免物とは

免物^{めんもつ}とは主にお仏壇に奉懸するお掛け軸をさす言葉です。

本願寺第八代門主蓮如上人は、礼拝の対象である本尊を数多くの門信徒に授与されておられました。蓮如上人以降の歴代のご門主も同様に数多くの免物を門信徒に授与されておられます。現代でもご門主の名として本願寺より免物が授与されます。

そのため、本願寺より授与される免物にはご門主名およびそのお印と裏書がされているのです。

免物のご本尊は阿弥陀仏という仏さまです。阿弥陀さまのおすがたはこの私をそのまま救うという誓いのまに悟りの世界より現れ出た^{ほうべんほっしん}方便法身といいます。ここでいう方便とはうそやごまかしという意味ではなく、私を悟りに至らしめる巧みな手立てをさす言葉です。私が感知することのできない「いろもなくかたちもなくことばもたえた」悟りの世界から、「ほうっておくことはできない」とこの私に必ず救いの力を届けるために立ち上がり歩み寄ってくださる阿弥陀さまのおすがたを描いているのです。



御本尊(阿弥陀如来絵像)

また、「南無阿弥陀仏」の名号は「我にまかせよ必ず仏とならせる」とこの私を喚ぶ声として現れ出た言葉の仏さまとしてのおすがたを表しています。

両脇の絵像は「あなたをそのまま救う」という阿弥陀さまのみ教えを正しくお示くださり、お念仏の一期を歩まれた浄土真宗の祖である親鸞聖人と、そのお示しを世に広められた第八代蓮如上人のお姿が描かれています。先にお念仏の道を歩まれたお二方がいたからこそ、この私に阿弥陀さまのみ教えが届いたのでした。

ご本尊、両脇さまを安置するお仏壇は「仏さまがご一緒である」というみ教えに生きる私にとって「こころのよりどころ」です。ぜひ、ご本尊は本願寺からお迎えし、家族皆さまでお参りしましょう。

本願寺福岡教堂取扱 在家免物冥加金改定一覧

20代(19.7cm×9.1cm)・30代(27.3cm×9.1cm)

表装	本尊 (阿弥陀如来絵像)	祖師 (親鸞聖人絵像)	蓮師 (蓮如上人絵像)
金襴	50,000 円	50,000 円	50,000 円
桐	35,000 円	35,000 円	35,000 円
藤	25,000 円	25,000 円	25,000 円

50代(34.8cm×12.1cm)

表装	本尊 (阿弥陀如来絵像)	祖師 (親鸞聖人絵像)	蓮師 (蓮如上人絵像)
金襴	52,000 円	52,000 円	52,000 円
桐	37,000 円	37,000 円	37,000 円
藤	27,000 円	27,000 円	27,000 円

70代(42.4cm×15.2cm)

表装	本尊 (阿弥陀如来絵像)	祖師 (親鸞聖人絵像)	蓮師 (蓮如上人絵像)
金襴	78,000 円	78,000 円	78,000 円
桐	48,000 円	48,000 円	48,000 円
藤	36,000 円	36,000 円	36,000 円

いちょう・きく

表装	絵像 (阿弥陀如来絵像)	六字名号 (南無阿弥陀仏)
いちょう	50,000 円	50,000 円
きく	39,000 円	39,000 円

携行本尊

携行本尊 (阿弥陀如来絵像)
10,000 円

※表にない免物については福岡教堂ではお取扱いいたしておりません。

※表にある免物でもお取置きのない場合もございますので、希望されます場合は予めお電話ください(代表:092-771-9081)。

※一度交付いたしました**免物の交換や返品、宅配便等による福岡教堂からの配送は一切できません。**

本願寺福岡教堂 親鸞聖人鑽仰講座

～2026（令和8）年度のご案内～

期 日	ご 講 師
4月 14日（火）・15日（水）	村上弘幸師（北九州市 安楽寺） 配信
5月 14日（木）前席	赤星大道師（北九州市 浄蓮寺） 配信
14日（木）後席・15日（金）	木村眞昭師（福岡市 妙泉寺） 配信
6月 14日（日）前席	鷹取直道師（直方市 明元寺） 配信
14日（日）後席・15日（月）	松月英淳師（糸島市 海徳寺） 配信
7月 14日（火）・15日（水）	嶋津教信師（豊前市 円光寺） 配信
9月 14日（月）前席	安武慶哉師（北九州市 妙法寺） 配信
14日（月）後席・15日（火）	木村大信師（筑紫野市 光傳寺） 配信
10月 14日（水）前席	篠田准照師（北九州市 西徳寺） 配信
14日（水）後席・15日（木）	郡島朋昭師（春日市 光照寺） 配信
11月 14日（土）前席	熊鰐信行師（遠賀郡 西圓寺） 配信
14日（土）後席・15日（日）	藤崎 証師（北九州市 顕照寺）
12月 14日（月）前席	佐々木 朋信師（福岡市 法泉寺）
14日（月）後席・15日（火）	石松 昭信師（筑紫野市 栄法寺）
2027年	
2月 14日（日）・15日（月）	市場慧樹師（田川郡 明念寺） 配信
3月 14日（日）前席	福山智昭師（大牟田市 明行寺） 配信
14日（日）後席・15日（月）	中山信之師（飯塚市 光妙寺） 配信

○時 間 13時30分～15時30分 ○会 場 本願寺福岡教堂 3階 礼拝堂（福岡市中央区黒門3-2 TEL092-771-9081）

○交通機関 地下鉄空港線唐人町駅6番出口より徒歩4分／西鉄バス黒門バス停・唐人町バス停より徒歩4分

※8月と1月は休座いたします。※駐車場台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

※鑽仰講座の案内を希望の方は、職員にお声掛けください。

※法座の開催状況は本願寺福岡教堂ホームページをご確認ください。

編集 後記

「もし、あの方がまだ生きていたら」。そう考える瞬間が、最近の日々の中で少なくありません。いのちや時が戻ることは決してありませんが、往生された方がこの私に何を残してくれたのか。それが今の私をどのように支え続けてくださっているのか。お念仏のみ教えを抛り所に、引き続き心静かに考えていきたいと思ひます。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 阿武 正法
〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話：092（771）9081